

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2373300652
事業所名	グループホーム 百楽苑

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目: 2) 町内会に加入し、回覧版や公報で地域の情報を入手している。廃品回収の手伝い、避難訓練、フェスティバル等の活動に参加し、地域の一員として活動している。保育園とは遊びの交流や相撲取りの来訪などで交流をしたり、小学校の催しの参加への誘いも受けている。地区の集会場で認知症カフェを運営したり、認知症サポーター養成講座を行い、地域貢献を目指している。職業体験等の受入の実績はないので、包括支援センター等と協働し小・中学校等で学習会を実施したり、職場体験などの受け入れをしていく方向にある。	評価	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み (外部評価項目: 3) 老人会長、民生委員、社協、市や包括支援センター職員の参加を得て年6回開催している。事業所の状況や行事の報告、出席者からの福祉フェスティバルなどの参加打診や行政の情報などがあり、意見や提案等はその場で話し合ったり、記録して会議などで協議しサービスの向上に活かしている。家族には議事録を送付して内容を伝えている。	評価	○
重点項目③	市町村との連携 (外部評価項目: 4) 介護更新手続きや処遇についての疑問や質問等について市と連絡を取り、助言や指導を受けている。地域包括ケア推進協議会で認知症地域支援部会のメンバーであり、専門部会の委員を務めたり、認知症カフェの運営では、市や包括支援センターと協働で活性化を図り、協力関係を築くように取り組んでいる。講習会等には積極的に参加している。	評価	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目: 6) 入居者の意見や要望は、日々のケアの中から傾聴や表情からくみ取るようにしている。家族からは、面会時や家族会の折りに聞き取り、付箋に記載し掲示したり、介護記録や申し送り帳に記入している。意見や要望は介護計画の参考にしたり、職員で検討し運営に反映している。	評価	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件 ○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価	○ ○ ○
総合評価			○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況 (外部評価) が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	認 事 項
2. 事業所と地域とのつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的 (年2回以上) に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的 (年2回以上) に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	×	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○	